

2021年度 全日空商事グループ^o連結業績ハイライト

→ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)	科 目	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
資 産 の 部			負 債 の 部		
流 動 資 産	39,947	39,555	流 動 負 債	22,246	21,933
現金及び預金	2,244	2,699	支払手形及び買掛金	6,799	8,352
受取手形及び売掛金	6,983	7,376	短期借入金	-	-
未収金	2,646	3,271	1年内返済予定の長期借入金	260	260
リース投資資産	6,897	6,780	リース債務	1,077	1,750
商品及び製品	9,054	7,419	未払金	10,743	7,953
原材料及び貯蔵品	179	211	未払法人税等	302	428
短期貸付金	5,725	6,605	賞与引当金	289	220
立替金	3,686	277	その他	2,773	2,968
その他	2,604	4,962			
貸倒引当金	△ 77	△ 48	固 定 負 債	8,538	7,386
			長期借入金	520	260
固 定 資 産	20,709	21,029	リース債務	3,993	3,073
有 形 固 定 資 産	6,148	5,649	役員退職慰労引当金	213	225
建物及び構築物	2,497	2,185	退職給付に係る負債	2,584	2,483
機械装置及び運搬具	459	397	その他	1,227	1,344
工具、器具及び備品	775	644			
土地	2,154	2,171	負 債 合 計	30,785	29,319
建設仮勘定	17	2			
その他	243	248	純 資 産 の 部		
無 形 固 定 資 産	1,641	1,213	株 主 資 本	26,767	27,132
のれん	456	349	資本金	1,000	1,000
ソフトウェア	1,086	704	資本剰余金	26	26
ソフトウェア仮勘定	64	100	利益剰余金	25,740	26,105
その他	34	58	その他の包括利益累計額	2,843	3,852
投資その他の資産	12,919	14,166	その他有価証券評価差額金	3,027	3,184
投資有価証券	8,235	9,036	繰延ヘッジ損益	166	393
長期貸付金	341	359	為替換算調整勘定	△ 176	353
繰延税金資産	2,016	2,666	退職給付に係る調整累計額	△ 174	△ 79
退職給付に係る資産	270	268	非支配株主持分	261	280
その他	2,429	2,202			
貸倒引当金	△ 374	△ 367	純 資 産 合 計	29,871	31,265
資 産 合 計	60,656	60,585	負 債 ・ 純 資 産 合 計	60,656	60,585

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

→ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売 上 高	82,487	83,128
売 上 原 価	65,112	63,435
売 上 総 利 益	17,374	19,693
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	21,675	19,195
営 業 利 益 又 は 損 失 (△)	△ 4,301	498
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	4	4
受 取 配 当 金	152	82
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	19	233
為 替 差 益	67	77
雇 用 調 整 助 成 金	1,221	564
そ の 他	361	130
営 業 外 収 益 合 計	1,826	1,093
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	17	23
固 定 資 産 除 却 損	94	6
そ の 他	93	87
営 業 外 費 用 合 計	204	117
経 常 利 益	△ 2,678	1,474
特 別 利 益		
子 会 社 精 算 益	86	-
投 資 有 価 証 券 売 却 益	10	-
特 別 利 益 合 計	97	-
特 別 損 失		
固 定 資 産 売 却 損	-	-
投 資 有 価 証 券 評 価 損	9	0
減 損 損 失	661	169
災 害 に よ る 損 失	-	-
そ の 他	341	638
特 別 損 失 合 計	1,012	808
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益 又 は 損 失 (△)	△ 3,593	665
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	276	1,067
法 人 税 等 調 整 額	△ 865	△ 825
法 人 税 等 合 計	△ 588	242
当 期 純 利 益	△ 3,004	423
非支配株主に帰属する当期純利益又は損失 (△)	133	57
親会社株主に帰属する当期純利益又は損失 (△)	△ 3,138	365

(注1)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注2)当会計年度より「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

- 当事業年度における我が国は、新型コロナウイルス感染症によるパンデミック発生から2年が過ぎていますが、コロナ禍は国内外の経済・社会に多大な影響をもたらし、ワクチン接種が進んだ今でもなお、社会経済活動の正常化へは道半ばの状況となっています。各産業に目を向けると、いち早く回復を遂げ更なる成長にまい進する産業がある一方、対面型サービス業を中心に、引き続き厳しい状況に置かれた産業もあり、K字回復の様相が長期化しています。
- このような状況下、全日空商事グループはANAグループの多角化事業を担う商社グループとして「専門分野を磨き上げ、顧客満足を追求し、確固たるマーケットプレゼンスを発揮する」という基本方針のもと、自社の強みを最大限に活用した事業拡大や新規事業領域への挑戦等グループ外からの収入拡大に努めてまいりました。
- 事業概況と致しましては、空港免税・空港売店事業を中心に引続き新型コロナウイルス感染拡大の長期化による影響を受けましたが、旅客の回復に加え店舗運営の効率化や外部出向の実施等に取り組んだことで、前年からは大幅に利益を改善しました。
(空港免税・空港売店事業営業利益実績計：▲2,526百万円/対前年：+2,373百万円) また、藤二誠においても東京オリンピックパラリンピックの無観客開催や観光地を中心とした人流の回復遅れ等がありましたが、人流の多かった夏場や年末年始の時期に売上を確保し、コスト削減にも取り組んだ結果、前年に対して増益となりました。(営業利益計：▲201百万円/対前年：+357百万円)
- 一方、引続き半導体・電子機器需要の伸長を取り込んだ電子事業が2年連続で過去最高益を記録、巣ごもり需要を取り込んだA-style事業も引き続き利益を伸長させました。また、ANAフーズにおいては海上運賃の値上げ等によるコスト増加により前年は下回るものの、生鮮バナナ等の販売を中心に引続き利益を確保しました。(食品・電子・EC事業営業利益実績計：2,438百万円/対前年：+324百万円)その他、多くの事業・グループ会社の収益改善により、グループ全体としては、連結営業利益で498百万円(対前年+4,799百万円)となりました。
- その結果、親会社株主に帰属する当期純利益は365百万円となりました。

→ 連結経営成績

単位：百万円

	2020年度	2021年度 ※1	増減
売上高	82,487	83,128	※1
営業利益	▲4,301	498	4,799
経常利益	▲2,678	1,474	4,152
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲3,138	365	3,503
EBITDA※2	▲2,859	1,649	4,508

※1 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用した数値となっております。

※2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

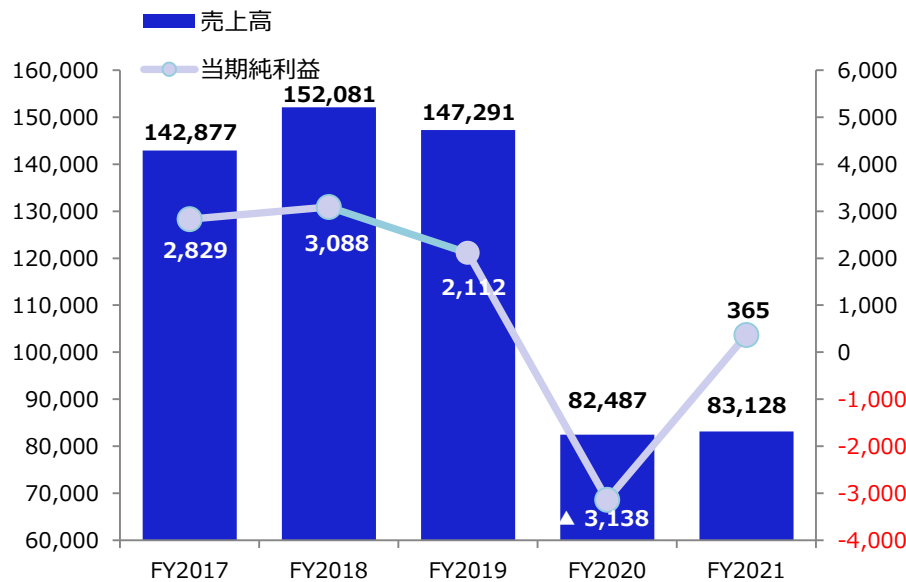
→ 主要財務数値

単位：百万円

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
売上高	142,877	152,081	147,291	82,487	83,128
営業利益	4,250	3,804	3,074	▲4,301	498
経常利益	4,404	4,927	3,654	▲2,678	1,474
親会社株主に帰属する当期純利益	2,829	3,088	2,112	▲3,138	365
総資産	65,771	68,935	64,759	60,656	60,585
純資産	28,411	31,185	31,063	29,871	31,265
自己資本比率(%)	43.0	45.0	47.8	49.2	51.6

→ 売上高・当期純利益推移

単位：百万円



→ 総資産・純資産推移

単位：百万円

